

令和6年度 定期巡回・随時対応型訪問介護看護ながと 介護・医療連携推進会議①

場所：ケアタウンながと 3F

開催日時：令和6年11月28日（木） 14:00～

1：開会

2：出席者の紹介

地域住民代表：染矢和陽様

家族代表：三浦文香様

包括支援センター：稗田様

連携型訪問看護ステーション：寺嶋和子様（訪問看護ステーションさいき）

医療機関：所賀清美様（長門記念病院）

ケアタウン：平石善伸、上村真由美、児玉昭彦、山田千幸、植村香江、矢野みさ子

3：会議の目的

事業所が提供しているサービスの内容を会議で明らかにすることにより、利用者の「抱え込み」を防止し、地域に開かれたサービスとすることで、サービスの質の確保を図る。
また、地域における介護及び医療に関する課題について関係者が情報共有を行い、介護と医療の連携を図る。

4：サービス実施状況 令和6年11月実績

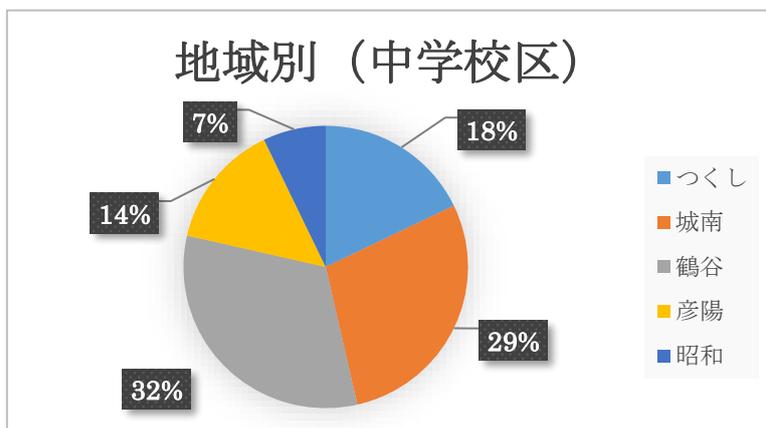
要介護別 1:13名 2:5名 3:4名 4:3名 5:3名 区変中:0名 合計28名

平均介護度：2.2（1.6）

つくしの入居者：5名 外部23名

居宅 鶴望野：16名 外部：12名

看護利用者：9/28名（別に医療保険3名）



5：事例紹介

別紙2枚

6：今後の課題

- ・核家族化がすすみ、利用のキーパーソンの方が、遠方に居住しているケースやキーパーソン自体が高齢化。新規相談時点でキーパーソン不在のケースもある。
- ・認知症の進行とともに緊急通報システムの理解が難しく、本来の用途を果たせていないケースもある。
- ・災害時の避難先の確保。個別で避難先は確認しているが、台風発生時、費用面の理由から、自宅待機が大半。オムツ交換等の場合、訪問の見直しを行い必要最低限とし台風の状況を確認しながら訪問している事が現状。

7：意見交換

8：次回開催予定

9：閉会